

# みしま

## 三島のお米は安全です

放射性物質は検出されず

写真／三島小の稲刈り体験は9月29日に宮下活性化センターとなりの田んぼで行われ、三島保育所の子どもたちもお手伝いしました。県の放射性物質モニタリング検査では、町内の米から放射性物質は検出されませんでした。三島のお米を今年も安心して食べられます。



2011  
10

広報みしま No. 223



町内の各地区から宮下のゲートボール場に集まって練習する皆さん。10月の大会に向けて元気に練習中

# 特集 元気に歳を重ねる

| 町の人口と高齢化率の推移 |       |       |       |
|--------------|-------|-------|-------|
| 年            | 総人口   | 65歳以上 | 高齢化率  |
| 昭和30年        | 6,618 | 407   | 6.1%  |
| 昭和35年        | 5,803 | 431   | 7.4%  |
| 昭和40年        | 4,964 | 463   | 9.3%  |
| 昭和45年        | 4,108 | 513   | 12.5% |
| 昭和50年        | 3,766 | 532   | 14.1% |
| 昭和55年        | 3,389 | 558   | 16.5% |
| 昭和60年        | 3,180 | 649   | 20.4% |
| 平成2年         | 2,883 | 755   | 26.2% |
| 平成7年         | 2,674 | 893   | 33.4% |
| 平成12年        | 2,474 | 939   | 38.0% |
| 平成17年        | 2,250 | 973   | 43.2% |
| 平成22年        | 1,926 | 912   | 47.4% |

国勢調査の結果より

町の高齢者の現状です。今から56年前の昭和30年には、6,618人を数えた町の人口は、平成22年の国勢調査では1,926人まで減少しました。また当時の高齢化率は6.1%でしたが、平成22年の国勢調査では、47.4%。町の約半数の方が65歳以上の高齢者という現状です。

「足が悪い」「腰が痛い」など、歳をとれば体のあちこちが悪くなりがちです。何十年も一生懸命働いた体ですから、弱るのも無理はありません。しかし気をつければ防げることがあるはず。町には100歳を超えても元気に暮らす方がいます。長寿の方と宮下病院の先生から元気の秘訣を聞いてきました。

## 町の人口の半分が65歳以上の高齢者

1 三島太神楽保存会の諏訪幸雄さんとおかめを演じた栗田政行さん 2 ひよつとこの演技に会場は笑いに包まれた 3 福島民報社会津坂下支局の平田団支局長から表彰状を受け取る、千葉徳淵さん、アキ子さんご夫婦 4 川俣町山木屋太鼓の遠藤元気さん 5 トランペットを吹く長屋伸浩さん



2



3



1



4



5

## いつまでもお元気で

### 平成23年 三島町敬老会

三島町敬老会は9月7日、生涯学習センターカタクリ体育館で行われました。町内の75歳以上の方々が招待され、279人が参加しました。二瓶隆司町長は「7月末の豪雨災害では町のあちこちで被害を受けました。まずはその復興をしっかりと行います。また、高齢者の方々が安心して過ごせる町づくりをしていきたいと思っています。いつまでも元気で長生きしてください」とあいさつしました。続いて福島民報社主催の「しあわせ金婚夫婦表彰」が行われ、結婚50年を迎えた9組のご夫婦を代表して、千葉徳淵さん、アキ子さんご夫婦（滝原）に表彰状が贈られました。角田伊一町議会議長が祝辞を述べ、五十嵐敏老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。式典後の演芸会では、三島保育所の子どもたちのお遊戯と、三島太神楽保存会による長獅子とおかめ、そして、川俣町の山木屋太鼓と本宮のトランペットが共演する「からまつデラックス」による演奏が披露されました。参加した皆さんは、お弁当を食べながら演芸会を楽しみました。会場のあちこちでは、久々の再会を喜び、笑顔で話す方々の姿が見られました。

### 三島町高齢者番付表

<男性>

|    |    |    |     |    |
|----|----|----|-----|----|
| 横綱 | 二瓶 | 富雄 | 96歳 | 大谷 |
| 大関 | 角田 | 二八 | 96歳 | 宮下 |
| 関脇 | 小林 | 貞司 | 96歳 | 大谷 |
| 小结 | 浅沼 | 仙吉 | 96歳 | 早戸 |

<女性>

|    |    |     |      |     |
|----|----|-----|------|-----|
| 横綱 | 中村 | キミノ | 101歳 | 宮下  |
| 大関 | 小柴 | キン  | 101歳 | 高清水 |
| 関脇 | 諏訪 | オトク | 99歳  | 宮下  |
| 小结 | 小柴 | マツイ | 98歳  | 宮下  |

平成23年8月15日調査

写真\_キンさんのお宅にお邪魔すると、1人、2人とお茶のみ仲間が集まってきました。みんなで笑いながら、お茶を飲んでいる時、キンさんは本当に楽しそうです。



「毎日散歩を欠かさないこと。3度のご飯と近所の人とお茶のみも大事です」

# 101歳

◎高齢者番付 女性の横綱

## 小柴 キン さん(高清水)

——今年4月で101歳おめでとうございます。どこか具合の悪いところはないですか？  
 今のところどこも悪いところはありません。おかげさまで、とても元気ですよ。  
 ——長寿と元気の秘訣はなんですか？  
 一日三度のごはんはきちんと食べています。それから毎日、夕方には散歩を欠かさないようにしています。近くの地蔵様までの、わずかな距離だけですね。あとはルーペを使いつつ毎日新聞を読んで頭を使うようにしています。

——普段の生活で楽しみにしている事はなんですか？  
 毎週火曜日にデイサービスに行くのが楽しみです。家でも毎日誰かが来てくれてお茶のみをしています。冗談を言って笑っているのがなにより楽しいですね。孫やひ孫がたまに顔を見せて、誕生日を祝ってくれることも本当に幸せです。長生きして良かったと思いますよ。  
 氷川きよしの大ファンだと話すキンさん。気持ちを若く保つのも長生きの秘訣のようです。



「ご飯をおいしく食べて体を動かすこと。あとはちょっとのお酒かな」

# 96歳

◎高齢者番付 男性の横綱

## 二瓶 富雄 さん(大谷)

——今年10月で97歳ですね。おめでとうございます。どこか具合の悪いところはないですか？  
 少し前まで胃が悪かったけど、今は特に悪いところはないですね。  
 ——長寿と健康の秘訣はなんですか？  
 ご飯をおいしく食べる事だと思います。贅沢はせず肉や魚を適度に食べるようにしています。  
 若いころは体が弱かったもので、これほど長生きするとは思っていませんでした。丈夫になってからは、体を使った仕事をして、去年までは杉の木の子打ちもやっていましたよ。それから、以前は毎日欠かさずに

散歩をしていました。冬は体がなまってしまっているので、雪が降っても、かんじきやアイゼンを使って歩いていました。ただ、今年の春くらいから散歩はやめてしまったのですが。  
 ——昔からの積み重ねが今の元気につながっているんですね。普段の楽しみはなんですか？  
 以前は木が育つのが楽しかった。山の木が見えると手入れをしたくてしょうがなかった。そしていい木が育つととても嬉しかった。今は毎日の晩酌が楽しみです。1合くらい飲みます。孫とひ孫に会うのも楽しみです。賑やかなものですよ。

# 長寿に聞く健康の秘訣

高齢者番付の横綱に聞きました

周りの物や人に関心を持ち、人と話すことも重要です。趣味を持つことも良いようです。また、よく歩く人の方が、歩かない人よりも認知症になる傾向が少ないようです。現在は、進行を緩やかにする薬も出てきているので、気になる症状が出たら早めに病院を受診してください。

**若いときからの予防を心がけてください**

高齢になってあちこち具合が悪くなつてから治療をするよりも若いうち、働き盛りの頃から対策をとった方が、断然予防や治療の効果が期待できます。早いうちから関心を持って予防治療を心掛けてください。

最後に、年齢にかかわらず、些細なことや細かいことでも何でも相談してください。常設ではありませんが、整形外科、神経精神科、皮膚科、耳鼻咽喉科の専門の先生もおりますので、相談して頂くことが可能です。

また、宮下病院では出前講座など、出張して講義をしています。ぜひ活用してください。知識や理解を深める手助けとなっていたら幸いです。

## 活用してください！ 宮下病院の出前講座

|    |                                     |                                                                                                   |
|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | いつまでもいきいきと自分らしく<br>～認知症予防を手軽な運動で～   | ①認知症の初期症状、②ならないための生活習慣、③物忘れチェックリスト、④認知症予防体操、⑤いつまでも元気に生活するための心のもちよう、⑥認知症の方の気持ち、⑦手軽にできる体操やゲーム、手遊び 等 |
| 2  | めざそう 100 歳<br>～健診を受けて、ますます長生き～      | ①一般健診の検査結果から、生活習慣を見直すためのきっかけづくり、②胃がん、大腸がんのリスクファクターと検査方法の説明、③ピロリ菌との関係が注目されている胃がんや潰瘍についての説明 等       |
| 3  | 生活習慣病ってどういうこと？<br>～ちょっぴり運動を続けよう～    | ①日常生活における食事と運動、②脂肪を減らして心臓病予防、③減塩で高血圧予防、④あなたの血管年齢を測定します 等                                          |
| 4  | 高齢者の転倒予防・寝たきり予防<br>～いつまでも、足・腰 元気！！～ | ①なぜ転倒が寝たきりの原因になるのか、②骨粗しょう症とは？また、ならないために、③転ばないようにするにはどうしたらよいか、④転ばない足・腰をつくるための体操                    |
| 5  | 腰痛、膝痛の原因<br>～若がえりのための体操～            | ①腰痛、膝痛はなぜ起こるのか、②腰痛、膝痛予防のための体操                                                                     |
| 6  | 高血圧予防教室<br>～簡単な血圧予防のお話です～           | ①高血圧の基礎知識、②生活のポイント、③家庭での血圧測定のポイント                                                                 |
| 7  | 自分らしく生活するための呼吸法<br>～息切れしないコツ～       | ①口すばめ呼吸と腹式呼吸の練習、②筋力強化・有酸素運動、③ストレッチ体操の実施、④日常生活の注意と工夫（睡眠、入浴、食事）                                     |
| 8  | 禁煙教室<br>～タバコの害について～                 | ①日本と世界の喫煙率、②タバコの成分、③各種疾患と禁煙者の死亡率、④タバコ1日の喫煙本数と肺ガン死亡リスク、虚血性心疾患死亡リスク、慢性気管支炎症状、⑤受動喫煙                  |
| 9  | 薬との上手なつきあい方<br>～知っておきたい薬の知識～        | ①お薬の飲み方（食間・座薬とは）、②お薬手帳の活用、③ジェネリック医薬品について                                                          |
| 10 | 元気をつくる食習慣                           | 毎日の食事で心がけたい、コツをお話します。                                                                             |

📍県立宮下病院 事務部「出前講座担当」 ☎(52) 2321

## 専門家のインタビュー

◎県立宮下病院

紺野 武彦 医師



### プロフィール

出身地：福島市飯坂町出身

出身校：自治医科大学卒業

専門：脳神経外科、一般内科

趣味：写真。もともと子どもを撮影するためにカメラを購入したが、会津は綺麗な景色が多く、最近では風景を写真に収めることがもつぱらの楽しみ



高齢者が元気に年齢を重ねるうえで、危険度と頻度から肺炎、骨折、脳卒中に注意が必要です。肺炎になる原因の多くは、高齢による体力低下の場合が多いですが、肺の持病を持つ方や糖尿病を患っている方は、肺炎になるリスクが増えます。予防方法としてはバランスよく栄養を取り、日常からの体力維持が重要です。また「うがい・手洗い・マスクの着用」など衛生面に注意すること。そして慢性疾患の管理をすることも重要です。「肺炎球菌ワクチン」の接種も肺炎の予防には効果的です。

骨折については、長期間ベッ

が多く、その間に筋肉も衰え、そのまま寝たきりになる危険があります。高齢になると、転びやすく骨も弱っているため特に注意が必要です。まずは転ばないこと。そして丈夫な骨を作ることが一番の予防です。

脳卒中はある日突然発症します。早急に適切な治療をしないと後遺症も大きくなり、命にかかわる事態に発展しやすい病気です。脳卒中も入院生活が長くなる傾向にあるため、その分体力の低下が心配されます。いつ病気が起こるかを予測するのは困難な場合が多いのですが、危険因子となる生活習慣の見直しや基礎疾患（生活習慣病や不整脈、糖尿病）の治療をしっかりと行うことが重要です。

寝たきりとなることを防ぐためには、入院が必要な病気にかからないことが何より大切です。病気をしなくても、人は加齢で体力が落ちるので、その分体力低下に注意し、身の回りのことで、自分で出来ることはなるべく自分でする。そして積極的に外へ出て、体を動かす。仕事を

「病は氣から」  
心の元気が体の元気

昔から、「病は氣から」と言うように、心と体は密接な関係があります。心の健康について「うつ病」のお話しをします。

うつ病は急に元気がなくなったり、ふさぎこんだりします。一番の予防は良く休む事です。また、生きがいや、趣味を見つけてることも大切です。その他、高齢になると環境の変化に対応するのが苦手になり、身内が亡くなった場合など精神的変化に対応できないことがあります。

その場合、周りの血縁者の支えも重要です。独居の場合は、遠方においても定期的に来たり、連絡をとるなど、周りの人の気配りと支えが非常に重要です。

### 認知症の予防

認知症は実際のところ、今だに予防法がよく分かってない病気です。しかし、アルツハイマー型認知症は魚や野菜を食べる事。また、新聞や本を読み、パズルなどで脳を鍛えること。そして、家に引きこもらず体を動かし、周囲と交流することが有効であるとされています。

### ◎編集を終えて

「歳をとってしまった」という言葉は頻繁に耳にします。この言葉には、「できれば歳はとりたくない」という意味が込められている気がします。しかし、歳をとることは決して悪いことばかりではないはず。孫やひ孫の成長をみられたり、近所の人とお茶のみをしたり、仲間同士ゲートボールをすることも、歳をとったからこそできることです。多くの方は、若い頃は仕事や育児に追われ、自由な時間はほとんどなかったことでしょう。しかし、子どもが独立し、定年を迎えてからが、自分の時間を使える時ではないでしょうか。それには健康が不可欠です。皆さんの気付きと実践が健康と元気につながります。

元気であればきつと、歳の数だけ、たくさん幸せが増えるはず。特集「元気に歳を重ねる」終わり



優勝した五十嵐淳さん（宮下）

## 五十嵐淳さんが優勝 第12回町民親善ゴルフ大会

三島町商工会青年部主催の第12回町民親善ゴルフ大会は9月25日、新潟県阿賀町のアイビスゴルフクラブで行われました。町民及び町内事業所に勤務する方、または町にゆかりのある方30人が参加し、五十嵐淳さんが優勝しました。結果は以下の通りです。優勝 五十嵐淳さん、準優勝 堀内孝喜さん、3位 青木保雄さん



消防署員から放水訓練の指導を受ける消防団員

## 消防団ポンプ中継訓練を実施 三島町消防団技能習得訓練

消防団技能習得訓練は9月19日、大谷地区河川敷グラウンドで行われ、各班の消防団が集まりました。各班で自動車ポンプや可搬ポンプを持参し、ポンプとホースを中継し放水する訓練を実施しました。万が一の火災に備え各団員は真剣な表情で訓練に取り組んでいました。これから火を使う機会が増えますので、町から火災を出さないように気をつけましょう。



「くさの根」に届けられた三島の木のテーブル

## 四倉に三島のぬくもり届けました 「くさの根」が10月1日に新規オープン

三島町と交流のある、いわき市四倉で、食堂・物販の施設「くさの根」が10月1日にオープンしました。店内では、三島町の森のしごと舎で作られた木製のテーブルや椅子が使われています。食堂では海の食材を使ったメニューを味わうことができます。また、三島の特産品も販売される予定です。いわきに旅行に行った際は、ぜひ立ち寄ってみてください。



川井地区の国道252号で行われた街頭キャンペーン

## 安全運転をお願いします 秋の交通安全街頭キャンペーン

秋の交通安全街頭キャンペーンは9月28日、川井地区の国道252号沿いで行われました。町交通対策協議会、交通安全協会三島分会、町交通安全母の会、三島駐在所などが参加し、通行するドライバーに、交通安全を呼びかける記念品を配りました。今年度は交通事故が例年よりも多発しています。期間中だけでなく、いつも心にゆとりを持ち安全運転をお願いします。



女将の小林洋子さんと若女将の長峰京子さん

## 皆さんのお越しをお待ちしています ふるさと荘 10月から新体制で営業再開

宮下温泉ふるさと荘は、(社)ふるさと振興公社が7月末日で運営から撤退し、その後、町直営により営業していました。新たな指定管理者を公募した結果、(有)宮下温泉栄光館が指定管理者に決定しました。若女将の長峰京子さんは「皆さんの思い出が詰まったふるさと荘に、再びお越しいただけるよう頑張ります。今後もふるさと荘を可愛がってください」と話しました。



夏休みで日焼けした姿がたくましく見える

## 夏休みの練習の成果を発揮 三島小水泳記録会

三島小の水泳記録会は9月5日に行われました。当初、同月2日に予定されていた記録会でしたが、台風12号の影響で、5日に延期されました。当日の天気は曇り、気温22℃、水温26℃。肌寒いコンディションの中、児童は夏休みの練習の成果を発揮し、自己ベストを目指し懸命に泳ぎました。保護者も多数応援に駆け付け、声援を送りました。



優勝した排球塾（左側）とヤング西方（右側）の皆さん

## 1部は排球塾、2部はヤング西方が優勝 ビーチバレー大会に13チームが参加

教育委員会主催のビーチバレー大会は9月27日・28日の2日間開催され、12チームが参加し熱戦が繰り広げられました。試合の結果は以下のとおりです。

【1部】 ①排球塾 ②ガッツ西方 ③ワラビーズ、チームK 最優秀選手 目黒康仁さん 【2部】 ①ヤング西方 ②ビバ名入 ③Sixdiue、Team 奥会津 最優秀選手 五十嵐勝江さん



試合中、顧問の木村先生からの指示を受ける生徒たち

## 三島中男子バレーボール部両沼2位 中体連バレーボール新人戦両沼大会

中体連新人戦のバレーボール競技は9月27日に柳津中体育館と柳津町B&G海洋センター体育館の2カ所で行われました。男子バレーボール部は4チームで総当たり戦を行い、2勝1敗で両沼地区2位の健闘を見せました。女子は今月10日と16日、男子は16日に若松一中で会津大会が予定されています。三島中の健闘を祈ります。

# 三島町起業支援・雇用創出基金事業

町では、町内の新たな起業や雇用を生み出す事業に対して助成金を交付します。起業支援事業と雇用創出事業があり、下記のとおり助成事業を募集します。受理しました申請内容については、審査を経て採否と交付額を決定します。

| 区 分              | 起 業 支 援 事 業                                                                                                                                                                                                                   | 雇 用 創 出 事 業                                                                                                                                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 助 成 の 対 象        | 町内に事業所を有する、または新たに事業所を設置する法人または個人事業主が新たに起業する事業<br>※起業して1年以内の事業を含む。<br>※既存の事業所が新たな分野で起業する事業を含む。                                                                                                                                 | 町内に事業所を有する、または新たに事業所を設置する法人または個人事業主が新たに雇用する事業                                                                                                                                       |
| 助成対象経費<br>および期間等 | 地域資源等を活用し新たに起業する事業に要する次の経費<br>①商品等の試作開発費（原材料費、委託料、専門家等<br>招聘謝金・旅費、印刷製本費、リース料、消耗品費等）<br>※販売品に係る原材料費等の仕入れ経費を除く。<br>②事業所等の家賃、借地料<br>③機器等のリース料<br>④その他必要と認める経費<br>※施設整備費・施設改修費・備品購入費等の設備資金<br>および既存事業に係る経費を除く。<br><br>【助成期間】 1年以内 | 新たに雇用する従業員の賃金・共済費<br><br>【雇用条件】<br>①正社員 1年以上の雇用契約<br>②パート 6カ月以上の雇用契約<br><br>【助成する雇用人数】<br>①正社員2人以内<br>②パート3人以内<br>※正社員とパートの合計は3人以内とする。<br><br>【助成する雇用期間】<br>①正社員 1年以内<br>②パート 6カ月以内 |
| 助 成 の 額          | 助成対象経費の3分の2以内（千円未満切り捨て）<br>ただし100万円を上限とする。                                                                                                                                                                                    | ①正社員<br>1人当たり月額10万円以内<br>②パート<br>1人当たり月額5万円以内                                                                                                                                       |
| そ の 他            | 起業支援事業と雇用創出事業の両方に申請することも可能です。<br>国・県等の助成等を受けている場合は対象外とします。                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                     |
| 申 請              | 毎年度 通年受付<br>※申請年度内に助成期間が1年に満たない場合は、翌年度に残りの月数を助成期間として申請することができる。<br>※起業支援事業については申請日が新たに起業した日から1年以内であること。<br>※雇用創出事業については同一事業所が連続して申請できる年数を3年以内とする。                                                                             |                                                                                                                                                                                     |
| 申 請 先            | 役場地域政策課（申請様式は同課で配布します）                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                     |

※この事業は過疎対策事業債（ソフト枠）による過疎対策振興基金を利用して実施するものです。

☎役場 地域政策課 ☎ (48) 5533

## 輝く匠の技を展示

たくさんの方の来場をお待ちしています



第7回会津の編み組工芸品展は10月15日・16日に交流センター山びこで開催されます。当日は展示・販売するほか、ものづくり体験や工人の実演も行われます。町が誇る伝統工芸、匠の技をぜひご覧ください。また、同じ会場で、東北六県の伝統的工芸品が展示販売されます。東北の地域文化が育んできた伝統工芸の技も、ぜひお楽しみください。なお同日、編み組以外の生活工芸品を展示・販売する「ものづくり再光」が、生活工芸館で開催されます。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

## コミュニティ助成事業で購入しました

### 桧原地区 盆踊り用品

桧原地区では、今年度のコミュニティ助成事業により、盆踊り用品を購入しました。コミュニティ助成金について疑問やご質問等ありましたら、役場地域政策課☎(48) 5533までご相談下さい。



※コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターが全国自治宝くじの普及事業として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源として行っているものです。



今年の桧原地区の盆踊りの様子



テント



音響設備



装飾品



太鼓



盆踊りやぐら

## 宮下病院から健康のススメ

### 訪問診療・訪問看護のご案内



福島県立宮下病院

外来看護師 富田 佳加

朝夕に感じる涼しさに、秋の訪れを感じる今日の頃、どのようにお過ごしでしょうか。7月の豪雨により被災された皆様におかれましては、いまだ平穏といえない日々をお過ごしでないかと察し、心からお見舞い申し上げます。

さて、当院で実施している「訪問診療・訪問看護」は、ご自宅で療養中の方、もしくはご家族の介護をなさっておられる方が、少しでも安心して住み慣れた『家』で生活する為の医療サービスの1つです。簡単にご紹介いたします。

訪問診療は、月1回のペースで医師と看護師がご自宅をお伺いし、診察・計測（血圧・脈拍等）、必要な医療処置の提供、内服薬の処方などを行います。

訪問看護は、看護師が医師の指示に基づいて、週1回程度、ご自宅にお伺いし、清拭や点滴、褥瘡（床ずれ）処置・胃瘻や経管栄養の観察などを行います。

自宅療養や介護の悩みや負担を、お1人で、またはそのご家族だけで抱え込まずに、お気軽にご相談頂き、医療を通じて皆様のお力になれば幸いです。

## 三島町テレビ放送サービス スタートしました

町のテレビ放送サービスが10月1日から始まりしました。加入者の皆さんに、これから町独自の放送をしていきます。加入申し込みは随時、受け付けていますので役場 総務課 ☎ (48) 5515 までご連絡ください。

<放送プログラム>

●自主制作番組 30分

一日3回 6:30～、12:30～、18:30～

●ライブラリ映像（過去の記録）60分

一日2回 17:00～、20:00～

※放送プログラムは随時変更される場合があります。変更された際は、お知らせ版などでご案内します。

## 歳時記 萌の会

瞬きに消されておりぬ秋の虹  
小 柴 盛 雄  
村囃子訪ねて空し雲間月  
佐 藤 朋 良 子  
家中で大騒ぎして恵胡まつり  
小 柴 六 進 子  
運休の線路の錆や秋深し  
諸 井 ま さ 子  
徒に頁を捲る秋の風  
栗 城 幸 子

秋茗荷刻みし厨香り満つ  
小 平 佳 子  
葉草の匂ひ吊して秋うらら  
志 田 た つ の  
待てどなく流れし季よ翌は秋  
小 柴 有 美 子  
ひと切れの胡瓜に涼を乞う昼餉  
片 山 祐 一

### ●お詫びと訂正

広報みしま9月号15ページの「歳時記萌の会」栗城幸子さんの俳句に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。正しくは下記の通りです。

誤 白髪を染めて亡夫まつ閨日かな

正 白髪を染めて亡夫まつ門日かな

## 三島の 民話

第七話

### かしや猫伝説



#### 間方村に伝わる大昔かしや猫の伝説

一、二三四メートルの高い山、志津倉に化装（かしや）が住み、雨を百日振らせ、また、百日の日照りを続け、性悪しき病を流行らせ、人の命をとり人の若い骸を食らい、その余命を我がものにして、この地方の人々を困らせていた。

これを聞かれた弘法大師様は、大変地方の人を可哀そうに思い、志津倉山に入りかしや猫と戦ったこと半日、有難いお経の前に降参した。

その後かしや猫は、今までの悪を止めて、罪の償いとして、天の災いを除き難病をも治す志津倉山の主となった。間方村は大変住み良い里になった。今でも志津倉山に、猫鳴き岩という名のついている岩がある。



掲載協力

長郷 千代喜さん（間方）

## 本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00

日・祝 9:00～17:00

●お 休 み 年末年始

☎ 教育委員会 ☎ (48) 5599

### 宇宙のあいさつ

星新一・作  
和田誠・絵  
理論社

湖のほとりに立っていた邦子は「悪魔」と名のる男性に出会う。その「悪魔」は三つだけ願いをかなえてくれると言うが…人間のはかなさや欲について学べる、深い一冊です。

小学生向け



中学生向け



### こわい話

松田哲夫・編  
あすなろ書房

夏目漱石、江戸川乱歩、太宰治など日本を代表する作者が書いた「こわい話」を集めた本です。中学生までに読んでおきたい物語がたっぷりつまっており、こわい話のほかにもたくさんシリーズがあります。

### 本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会にて検討し、選定された本を購入します。

これからの行事予定 town schedule

10月 9日㊥

桐の里町民運動会 9:30～ 町民運動場

10月 15日㊤・16日㊥

会津の編み組工芸品展 9:00～ 交流センター山びこ  
東北六県伝統的工芸品展 9:00～ 交流センター山びこ  
ものづくり再光 9:00～ 生活工芸館

10月 21日㊤

ひとり暮らし旅行会 福島市・二本松市

10月 23日㊥

町制施行50周年記念式典 10:30～ 森の校舎カタクリ体育館

10月 30日㊥

消防団秋季検閲式 10:00～ 町民運動場

11月 3日㊤

三島町文化祭 9:00～ 町民センター

三島小まつり 9:00～ 三島小体育館

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

川井友愛サロン

10月 13日㊤ 10:00～ 川井集会所

大石田友遊サロン

11月 1日㊤ 10:00～ 大石田生活改善センター

☎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

ご寄附

ありがとうございました

町へのご寄附

全国森林環境税創設促進連盟 様

富士ゼロックス福島株式会社 端数倶楽部様

全国町村議会議長会 様

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

奥村吉彦様（名入）

五十嵐直登様（大石田）

小堀良一様（西方）

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

☎町民課 ☎ (48) 5565

4カ月児健診

10月18日㊤ 11:15～ 坂下厚生総合病院

11月 8日㊤ 11:15～ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

10月19日㊤ 13:00～ 柳津町 銀山荘

4歳児発達健診

10月20日㊤ 8:45～ 町民センター

献血

10月28日㊤ 9:30～ 桐寿苑前

12:30～ 町民センター

足腰げんき教室

◎室内運動編

10月11日㊤ 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

10月27日㊤ 13:00～ 町民センター集合  
河東学園プール

機能訓練会

10月26日㊤ 14:00～ 福寿草

心の健康相談（※事前申し込み必要）

10月20日㊤ 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を  
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



☎地域政策課  
美しい村づくり班  
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では8月中、刑法犯の発生は1件ありました。

息子や孫を名乗る  
不審電話に注意！

県内において、息子や孫等の名前を名乗るオレオレ詐欺の不審電話が相次いでいます。主な不審電話の内容は「携帯電話が壊れて番号が変わった」「風邪で声がおかしい」と話し、犯人が使用している携帯電話とやり取りをさせ、借金返済や不倫の示談金名目などで、犯人が指定した口座に現金を振り込ませるものです。中には直接被害者方まで現金を受け取りに行く手口もありました。

＜被害防止対策＞

- ・「電話番号が変わった」という電話は詐欺を疑う
- ・「風邪をひいて声がおかしい」という電話は詐欺を疑う
- ・一人で対応しない。
- ・本人に直接電話して確認する。
- ・警察に相談する。
- ・家族等に直接確認できるまでは絶対に現金を振り込まない。

街頭犯罪発生状況（1～7月）

| 区 分    | 管内 | 三島町 |
|--------|----|-----|
| 空き巣狙い  | 6  |     |
| 忍び込み   | 1  |     |
| 事務所荒らし |    |     |
| 出店荒らし  | 4  | 3   |
| 自動車盗   | 2  |     |
| オートバイ盗 |    |     |
| 自転車盗   | 11 |     |
| 自販機狙い  | 1  |     |
| 車上狙い   | 7  | 1   |
| 部品狙い   | 1  |     |
| 強制わいせつ |    |     |
| 街頭犯罪合計 | 33 | 4   |
| 全刑法犯   | 70 | 5   |

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

雇用・労働・年金

無料相談会のお知らせ

福島県社会保険労務士会

県社会保険労務士会では、震災、原発事故被害による、雇用、労働、労務問題、健康保険、年金、助成金等に関する無料相談会を開催します。雇用調整助成金や社会保険料や労働保険料が免除される場合についてなど、社会保険労務士が面談と電話で相談を受付けています。予約は必要ありません。ぜひご利用ください。

◎相談日・時間

平成24年1月までの毎週水曜日

13:00～17:00

◎場所・問い合わせ先

福島県社会保険労務士会

〒965-0803 福島市御山字三本松19-3

☎ 024 (526) 2270

職場のトラブル

解決をサポートします

福島労働局

福島労働局では、「総合労働相談コーナー」を設置し、解雇、労働条件、募集、採用など、労働問題に関するあらゆる分野について、総合労働相談員が労働者・事業主からの相談をお受けし、紛争の自主的な解決を促進する援助を行っています。

また、当事者から援助を求められた場合には、「労働局長の助言・指導」や「紛争調整委員会によるあっせん」により、解決に向けて労働局が無料でお手伝いをします。

職場でのトラブルにお悩みの方はお気軽に最寄りの「総合労働相談センター」にお問い合わせください。

☎会津総合労働相談コーナー

〒965-0803 会津若松市城前2-10

会津労働基準監督署内

☎ 0242 (26) 6494

パソコン甲子園

本選開催のお知らせ

会津大学

パソコン甲子園の本選が下記日程で会津大学を会場に開催されます。応募総数が過去最高となり、例年以上にハイレベルな競技を見られることが期待できます。抽選会など、来場者も楽しめるイベントがありますので、皆さんのご来場をお待ちしています。

11月5日㊤

13:40～「プログラミング部門」

14:30～「モバイル部門」

11月6日㊥

9:45～「デジタルコンテンツ部門」

◎会場 会津大学

（会津若松市一箕町鶴賀字上居合90）

☎パソコン甲子園事務局

☎ 0242 (37) 2532

三島町の人口と世帯

（9月1日現在）

| 人口 | 1,991 | -6 | 出生 | 0 |
|----|-------|----|----|---|
| 男  | 949   | -3 | 死亡 | 2 |
| 女  | 1,042 | -3 | 転入 | 2 |
| 世帯 | 837   | +2 | 転出 | 2 |

※住民基本台帳による数値です。



1 稲刈り後の田んぼの前で集合写真。秋晴れの中、稲刈りをしました 2 刈り取った稲をワラで束ねる。児童は真剣に作業していました 3 刈り取り方を教わる児童たち 4 三島保育所の子もたちも一生懸命お手伝い 5 大きく育ったよ！お米を食べれるまであと少し



6月1日に田植えを行った稲。今年は、放射性物質を心配しながらの米作りでしたが、児童たちが手間をかけた稲は順調に育ち立派な穂を実らせました。9月26日と28日に公表された、県の放射性物質モニタリング検査では、幸いにも町内の米から放射性物質は検出されませんでした。子ども達とおたんクラブの方々に育てられた稲は今、宮下活性化センター裏で乾燥中です。この後、10月後半に脱穀の作業が控えています。子ども達がお米を美味しく食べられるまで、あと少し。米は秋風に吹かれ、水分を飛ばし、おいしさを閉じ込めています。

三島小の田んぼの稲刈りは9月29日に行われ、三島小の5年生が黄金色に実った稲穂を刈り取りました。宮下地区の、びおたんクラブの方々に協力してもらい、子どもたちは鎌の使い方や、稲のしぼり方などを教わりながら作業をしました。また、当日は三島保育所の子も達も手伝いに加わって、稲刈りを体験しました。

# 走・跳・投



1 ボール投げに出場した坂内萌人くん 2 男子4×100mリレースタート直前、緊張の瞬間 3 6年800m走で1位になった小柴美蘭乃さん 4 5年男子走り幅跳びに出場した坂内玲央くん 5 混合4×100mリレー、見事なバトンパス 6 男子4×100mリレーで、優勝のゴールテープを切った板橋瑞樹くん。1,000m走でも圧倒的な速さで優勝。その他の種目でも大活躍を見せた



両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会は9月28日に金山小の校庭で行われ、三島小、金山小、横田小、昭和小の5年生と6年生が参加しました。台風の影響で当初の日程から延期しての開催となりましたが、当日の天気は晴天。秋晴れの中、三島小の児童は自己ベストを目指して懸命に競技しました。

三島小は4×100mリレーで男女共に優勝し、個人種目でも多くの児童が素晴らしい結果を残しました。

スタート前に、他校の児童とお互いの健闘を誓って、握手する姿を目にしました。児童はスポーツマンシップも自ら学んでいます。



1



2

1\_ いわき市中央台に建設された仮設住宅。楢葉町から避難した方々が入居している。  
2\_ 会津若松市城北町に建設された仮設住宅。大熊町から避難された方々が入居している  
3\_ 上棟式後、屋根に登っての記念撮影  
4\_ 仮設住宅の内装。写真は2DKタイプ  
5\_ 風呂からも木のぬくもりが感じられる

写真提供 星賢孝さん

## Topic 4

奥会津IORI倶楽部が  
木造の仮設住宅を建設

# 木のぬくもりで被災者支援

8月半ば、いわき市中央台に木造の仮設住宅が完成しました。この住宅は、地場木材を使い住宅を提供している「奥会津IORI倶楽部」（早戸）のメンバーが中心となって計画し建設されました。

5月に工事が着工され、会津地区の大手さんと、被災地の雇用確保のため、楢葉町の大手さんなども雇われ工事に参加しました。住宅は1DK、2DK、2LDKの3タイプ。総数は76棟162戸で、入居者は楢葉町から避難した方々です。同じく、会津若松市城北町にも、17棟36戸の木造仮設住宅が8月末に完成し、大熊町から避難した方々が入居しています。

工事を担当した佐久間建設工業(株)の佐久間源一郎社長は「被災者の方々に少しでも安らいでもらえる家を作れたかった。正直、採算は度外視ですが、入居者の方のアフターフォローをして、住み心地など調査することで、今後の活動につなげていきたいです」と話します。

木のぬくもりと作り手の気持ちがあつまった木の家は、被災者の方の気持ちを癒やしてくれていることでしょう。



5



4



3



3

1\_ 三島神社前でお払いを受けた後、一同揃っての集合写真  
2\_ 宮下地区を練り歩いた御輿渡御  
3\_ 絵灯籠を引いて夜の宮下を歩く。活性化センターを目指す  
4\_ 仮装踊りで1位になった起き上がり小法師



4



1



2

## 三島神社御祭礼

山車囃子受け継ぐ「桐桜会」

## Topic 3

三島神社御祭礼は三島神社奉賛会の主催により、9月10日・11日、宮下地区で行われました。

初日は午前10時から例大祭が始まり、その後、奉納神楽、御輿渡御が行われました。2009年に復活した本御輿行列「御輿渡御」は、今年で3年目。天狗を先頭に、かみしも、はかま姿の参加者が行列となつて宮下地区内を歩きました。夕方からは、明かりをともした山車と曳山が町内を回り、その後、宮下活性化センターの広場では仮装豊年踊りが行われ、起き上がり小法師や会津地鶏、魔女など様々な姿に仮装した参加者で大いに賑わいました。

2日目は桐桜会による山車囃しと子ども御輿が行われ、「わっしょい。わっしょい」の掛け声と、太鼓や笛の音が町内に響きました。天気は晴天。参加者の額から流れた汗と、時折吹く、初秋の風に清々しさを感じました。

朝晩の冷え込みが気になる今日この頃。季節はすっかり秋です。



6



5

5\_ 11日に行われた子ども御輿。子どもたちの元気な声が地区内に響いた  
6\_ 桐桜会のみなさんが山車の前で集合写真

# 集落の人たちが 団結し 夢を描いてください

名誉町民

宮崎清先生が講演



## PROFILE

### 宮崎 清 先生

「生活工芸運動」を提唱し、現在までアドバイザーとして尽力。その功績により平成19年、初の三島町名誉町民となる。千葉大学理事・副学長を歴任し、平成20年3月に退官。現在、放送大学千葉学習センター所長、千葉大学名誉教授。千葉県習志野市在住。山梨県出身、昭和18年生まれ

名誉町民、宮崎清先生の講演会は9月15日、町民センターで開かれました。宮崎先生は、約40年前に初めて三島を訪れて以来、何度も足を運び、昭和56年に「生活工芸運動」を提唱し、現在までアドバイザーとして尽力されています。

講演では、生活工芸運動の進むべき方向、そして、震災後のうらやす市民大学での取り組みを交えながら、地区づくりについて集落が果たす役割についてお話しされました。

生活に根差し、生活で使う工芸運動をして欲しい

「生活工芸運動は、自分たちで作る、使う。そのことを楽しみにした運動です。生活になくてはならないもの、生活に根差した物を作っていたはずです。商品を作るのではない。言い換えれば売れるものを作るんではないんです。自分の生活に必要なものを一生懸命作るからこそ、愛情が注がれ、しっかりしたものが出来る。そして自然と欲しい人が来てくれます」

存続していくために自分の集落は自分たちで考える

「震災後の浦安市は大きな打撃を受け、あのディズニールランドでさえも閉古鳥が鳴いています。住宅も大きな被害を受けました。そこで、浦安の原点は何なのかをみんなで考え、次の世代に受け渡していくためにうらやす市民大学が生まれました。そこでは東京湾で天然塩を作るなど、様々な夢が溢れました。三島町では、地区プライド運動はどうなっていますか。自分の集落はどうすべきか話合っていますか。集落が三島を作っています。それぞれの集落が輝かないと三島全体が輝かない。集落の人たちが団結して夢を描いてください。描ける夢はたくさんあるはずです。今、自分たちが集落をどうしていくか考えなければ、町が無くなってしまいかもしれない。今やることで次の世代にバトンを受け渡すことにもなります。夢を持って、取り組んでください」